



社会福祉法人武蔵野

# ふれっど

【ひろがれ、かさなれ、まさしののわ】

2023  
第61号



## 先を見据えた療育

特集

トピック

ちいさな輪っか展

食を通じて地域つながる

地域の食と農のつながり

たて糸よこ糸

こびと農園

えすぶれつそ

虹のワークショップ

土谷 美紗貴

大切なつながり

白石 有希

笑門来福

わたしの笑顔がみんなの笑顔に

# 特集 先を見据えた療育

みどりのこども館内にある通園部ウィズは、発達に気がかりのある3歳以上の未就学のお子さんの集団療育を行っています。幼児期は生きていく力の土台を築く時期だと考え、【楽しく人と遊ぶ経験から能動的な活動を引き出すこと】【毎日の積み重ねのなかから基本的な生活習慣を身につけていくこと】【人との関わりを通じて社会性の発達がうながされるようにすること】を大切にしています。個々に応じたプログラムも取り入れつつ、集団活動・集団生活に重点をおいて支援をしています。人は誰しも生涯を通して、他者と関わり、集団のなかで暮らしていきます。通園しているお子さん達もウィズの小さな集団から、やがて学校、社会へと徐々に大きな集団に参加していきます。そうした先を見据えたウィズの療育の一部をご紹介します。

## 通園部ウィズの1日

→地図  
P.8-A



### 朝の支度

背負ってきたリュックを自分のマークがついているカゴに入れて、トイレ、検温を行います。毎日同じ順番と内容で取り組むことで、工程や方法を覚えやすくしています。

工程に見通しがつくようになると、職員のうながしがなくても、徐々に自分で取り組める部分が増えています。自分の身の回りのこと、自分から進んで取り組める力を伸ばすことをねらいにしています。



### 着替え練習

上衣の着脱、脱いだ衣服を片づけることなど、年間を通して1つずつ練習を重ねます。そして日々取り組むことで、自分のこと自分でする習慣をつくっていきます。

できないとき・自分ですることが難しいときに、人に手助けを頼むことも大切な力です。ですが、誰かを頼るときには、相手とのやりとりが必要であったり、相手が応じてくれることを待ったりして、やりたいことを実行するまでにワンクッションが必要になってきます。できることが多いということは、そのワンクッションを入れずに、自分のタイミングややりたい方法で、より自由に取り組めるということです。これは着脱に限ったことではなく、生活のさまざまな場面に共通していえることだと思います。



## 活動プログラムの内容とねらい

### 順番を待つ

朝の仕度や着替えのように、身の回りのことが自分でできるようになることも大切ですが、社会生活におけるルールとして【順番】を待てることも、先を見据えた支援の1つです。スーパーでレジを待ったり、遊園地のアトラクションの列に並んだり、社会には【順番待ち】がいっぱいだからです。

写真にある吊り遊具は、お子さん達の大好きな活動です。最初は、順番を待つことが難しいお子さんも、座っていると自分の番が回ってくる経験をくり返し、“待っていればできる！”と見通しがつくようになっていきます。最初は座ってみることから、30秒待てるようになったら、次は1分……と、徐々に待てる時間が伸びていきます。「楽しい！ やりたい！」ことだからこそ、そうした力が身につきます。



大好き吊り遊具！



吊り遊具にはさまざまな種類があります



椅子に座って順番を待ちます

#### ●わかりやすくするための工夫①

お子さん達が見通しをもって、主体的に行動することができるよう、わかりやすさを大切にしています。

ウイズの順番待ちは、基本的に椅子を使用します。椅子を並べて、進行方向に順番を詰めていくことで、自分の順番が近づいていることを視覚的にとらえやすくなり、自分が座っているべき場所もハッキリします。

椅子を並べるところには、順番がわかりやすいように番号を表示することもあります。

#### ●わかりやすくするための工夫②

順番を待っている間にも、写真のように教材を使って歌うなどして、目でも耳でも待つ時間を使いめるように工夫しています。楽しい時間である方が、待つ時間もあっという間に過ぎていきます。

また、教材を見たい気持ちから、よく見える位置に座って待つことにもつながります。



歌って楽しく順番待ち

## 順番待ちを応用して

吊り遊具で練習した【順番待ち】は、他の場面でも応用されます。園庭ではカートに乗って遊ぶときに、乗降場所に椅子を並べて順番待ちをしますし、サーキットでも自分の順番が回ってくるのを椅子に座って待ちます。同じルールであれば、活動室から園庭へ場所が変わっても、吊り遊具からサーキットへ遊びが変わっても順番を待つことができるよう、遊びのなかで幅を広げていきます。

こうしたくり返しのなかで、徐々に椅子がなくても並んで待てるように場面を設定して、汎用性を高めていきます。【順番待ち】の目指す先は、いつでも、どこでも、誰とでもできることです。



園庭でも椅子を並べて順番待ち



子どもたちに大人気のサーキット

駅で座って待っていると、カートが迎えにきます。「えき～、えき～。ご利用の方はいらっしゃいますかー？」

### まとめ

私たちは、お子さん達がウィズにいる間のことだけを考えているわけではありません。お子さん達が大きくなって、大人になつたらどうなるのか、先を見通した支援が必要になります。

今回ご紹介した【順番待ち】が、人生のなかで絶対必要なこと、身につけないと人生が立ち行かないようなことではありません。身についていたら、選択肢の幅が広がり、生活の幅が広がって、より楽しく、より豊かに過ごせるようになる力だと考えます。

その人が、その人らしく、より楽しく豊かな人生を送れるように。通園部ウィズは、その土台となる心と体を育む場所として支援を組み立てています。

### 講師の声

上野 節子 先生  
(スーパーバイザー<sup>※</sup>)



3～5歳児の療育を行っているウィズに月1回訪問させていただき、療育の様子を観たり、先生方とお話しするなか、毎回お子さん一人ひとりの成長を実感しています。

それは、個々の子どもの成長が集団のまとまりにつながり、そのまとまりがまた、一人ひとりの力に還元されていて、個と集団間の望ましい成長の循環ができているからだと思います。

けれど一言で「集団」といっても、その人数・年齢・個々の状態などによって取り組む療育内容は異なってきます。初めて体験する集団活動が自分の発達に合っていないと、次のステップにうまく進めないことになりかねません。ウィズでは個々の状態を把握したうえで、今後の適切な進路も見通しながら、療育プログラムを組み立てられています。

こうした一人ひとりの発達を大切にした幼児期の集団活動の経験がこれからお子さんが進級・進学していくうえでの大切な土台になっているのだと思います。

※スーパーバイザーとは

療育の様子を見学したうえで先生方と話し合いながら、よりよい療育を目指すための内容や方法について検討したり、アドバイスをする役割。



店番を楽しみにされています

センターの玄関近くでご利用者やご家族、近隣の方、法人職員に向けた小規模な販売会「ちいさな輪っか展」を定期に開催してきました。2022年度は5月と7月に開催することができました。この4月に山びこに入所されたAさんは、店番は初めてでしたが、商品をおすすめしたり、笑顔で手を振つたりと大活躍で、お客様からも「素敵なお店番ですね」と声をかけられています。また、日々作品づくりに励んでいる利用者は、自分の作ったものが販売されている様子を実際に見ることができ、創作活動へのモチベーションにもつながったようです。

「ちいさな輪っか展」は今後、奇数月の第1金曜日に開催を予定しています（祝日などにより変更あり）。

つむぐとのInstagramでもお知らせしますので、お時間ありましたら、ぜひご来店ください。

（トイセンター山びこ　金沢　信彦）

をテーマに、7月7日に市内の飲食店

今年度は「食と農のおいしい出会い」

だきます。お楽しみに……。

（やさい食堂七福　柴田　美季）

コロナ禍以降つむぐでは、展示会や販売会の開催を控えてきました。しかし、そのようななかでもコロナの感染状況を見ながら、武藏野障害者総合センターの玄関近くでご利用者やご家族、近隣の方、法人職員に向けた小規模な販売会「ちいさな輪っか展」を定期に開催してきました。2022年度は5月と7月に開催することができ

て、当団はご利用者が店番を担い、来てくださったお客様とのやりとりを楽しむ様子が印象的でした。

今年度は5月に第1回を開催しまし

た。この4月に山びこに入所されたA

さんは、店番は初めてでしたが、商品をおすすめしたり、笑顔で手を振つたりと大活躍で、お客様からも「素敵なお店番ですね」と声をかけられています。また、日々作品づくりに励んで

いる利用者は、自分の作ったものが販売されている様子を実際に見ることができます。創作活動へのモチベーションにもつながったようです。

「ちいさな輪っか展」は今後、奇数月の第1金曜日に開催を予定しています（祝日などにより変更あり）。

つむぐとのInstagramでもお知らせしますので、お時間ありましたら、ぜひご来店ください。

（トイセンター山びこ　金沢　信彦）

## topics • トピックス

### ちいさな輪っか展

→地図  
P.8-B

**食を通じて  
地域とつながる**

**地域の食と農の  
つながり**

●CO+LAB MUSASHINO  
(やさい食堂 七福、さくらごはん)

→地図  
P.8-C



①生産者の  
K's ファーム 横本一史さんと、  
もぎたてトウモロコシ



②武藏野市産の新鮮野菜  
トウモロコシ 2種、  
きゅうり、えだまめ、  
トマト、ブルーベリー



こびと農園を運営する鈴木茜さん

「畑の体験教室」を知らせるポスターが貼つてある「こびと農園」は、武藏野市緑町の商店街の一角に佇んでいます。こびと農園は2022年に「新規就農」といつて、農家の出身ではない鈴木茜さんが、新たに農業の世界に飛び込む形でオープンしました。現在は野菜の卸売り事業や小売り事業、農業体験、外部の農業体験の講師、福祉事業所が管理している畑のお手伝いなどを行っています。

鈴木さんは中学生の頃、不登校で摂食障害もあり、食に悩んでいたそうです。食について考えるうちに、

こびと農園と法人武藏野のつながりは、ささいな雑談から始まりました。「商店街の皆さんに、将来は『農福連携』といつて、福祉事業所とつながって農業で社会に役立つ活動がしたいと話したところ、山びこの「ご」利用者を紹介してもらえることになりました」。

現在は天候に左右されず、安定的に働ける事務所で、農産物の袋詰めをお願いしています。最初は週1回1時間でしたが、今では週2回、袋詰め作業をしています。大助かりで、今ではなくてはならない存在なのだとかったです。

農業は土に触れたり、日の光を浴びたりすること

で、自然のエネルギーを感じることができます。「園芸福祉」という言葉があるので、障害や病気が

「畑の体験教室」を知らせるポスターが貼つてある「こびと農園」は、武藏野市緑町の商店街の一角に佇んでいます。こびと農園は2022年に「新規就農」といつて、農家の出身ではない鈴木茜さんが、新たに農業の世界に飛び込む形でオープンしました。現在は野菜の卸売り事業や小売り事業、農作

日本の農業の扱い手不足や食料自給率の低さの問題を知り、「私にもできることはないか」と考え、農家を志すようになつたのだと。満面の笑顔で出迎えてくれた鈴木さんの、誠実な人柄が現れていると感じました。

こびと農園と法人武藏野のつながりは、ささいな雑談から始まりました。「商店街の皆さんに、将来は『農福連携』といつて、福祉事業所とつながって農業で社会に役立つ活動がしたいと話したところ、山びこの「ご」利用者を紹介してもらえることになりました」。

現在は天候に左右されず、安定的に働ける事務所で、農産物の袋詰めをお願いしています。最初は週1回1時間でしたが、今では週2回、袋詰め作業をしています。大助かりで、今ではなくてはならない存在なのだと。

農業は土に触れたり、日の光を浴びたりすること

# たてみふる よこ糸

こびと農園

よりよい地域づくりをめざして活動している団体等を紹介します。

## こびと農園

代表：鈴木 茜  
TEL : 080-3202-8608  
FAX : 0422-29-9380  
Email :  
contact@kobitofarm.com  
WEB : <https://kobitofarm.com>



野菜の袋詰め作業

増えていますが、東京ではまだまだ少ないそうです。地方は広い土地に恵まれて同じ作物をたくさん栽培するため、同じ工程の繰り返しが多くなり、業務の切り分けがしやすい特徴があります。一方で都市部の畑は面積が狭く、たくさんの種類の作物を育てるため、作業が複雑化しやすくなるのが課題だそうです。

鈴木さんは昨年、「農福連携技術支援者」という資格を取得しました。農業は分かつていても、福祉の知識が足りないと感じたため、障害特性や気をつけるべきポイントなどを改めて勉強したのです。「この知識を活かして、「ご利用者の皆さんのが作業しやすくなるように整えていきたい」と思っています。そして畑での設備環境を整えて、いづれは畑での農作業を通して、自然と触れ合う素晴らしさを感じてもうえたらと思っています」。

武藏野市で今、新たな農福連携が芽吹き始めています。

(聞き手 デイセンター山びこ 宗友 志田)



展示された作品の前で記念撮影

完成した作品は吉祥寺美術館に展示され、活動制限も徐々になくなつてきましたタイミングでしたので久しぶりの外出活動としてご利用者の皆さんと一緒に作品を見に行きました。短い時間ではありましたが、少しずつ社会との関わりが戻つてきたように感じ、嬉しく思いました。今後もこのような外出活動を通してご利用者の楽しい時間を提供できたらと思います。

生活リハビリサポートする（生活介護）では中途障害の方に対して日中活動の場を提供し、余暇活動の提案や社会活動への参加などを手伝いしています。なかでも外出活動はご利用者の皆さんがあなたが一番楽しみにされていた活動でした。さまざまな経緯でさまざまな身体機能や生活動作に制限ができる

武藏野市障害者福祉センター  
生活リハビリサポートする  
土谷 美紗貴

→地図  
P.8-D

# えすぶれつそ

ちょっとひといき♪ 心がほっと温まるスタッフの日常をお届け♪

## 大切なつながり

特別養護老人ホームゆとりえ

白石 有希

→地図  
P.8-E

女性入居者のH様には、仲のいいご主人がいらっしゃいます。コロナウィルス流行前は毎日顔を合わせていたお2人にとって、面会制限の厳しかったこの期間は、なかなか会えず寂しいものとなってしまいました。

そしてこの2年間で、H様の認知症が進行し、今までできていたことがで



面会中のH様ご夫婦と。とても素敵なご夫婦です

きなくなる、わからなくなるということが多くありました。「ご自分の変化に戸惑われ、混乱が強い日もあります。そんなとき、電話でご主人の声を聞くと穏やかな表情になることが多い、「ビデオレター」と称し、「ご主人からのメッセージを動画に撮らせていただく」としました。職員の声かけが耳に入らないほど興奮していて、ビデオレターのご主人の声を聞くとハッと我に返つたり、聞いているうちに穏やかになつたり……。そんなH様を見ていると、何十年と連れ添い、支え合つて生きてこられたご夫婦の絆を感じ、心が温かくなります。同時に、ご入居者は皆さん「誰かの大切な人」なのだと責任を強く感じます。

コロナ流行前のように面会ができる日はまだ先かもしれません、入居者の皆さんのが大切な方とのつながりを感じつつ、ゆとりえで過ごしていただけるような支援を今後も目指していくだけです。

笑門來福

わたしの笑顔が  
みんなの笑顔に



皆さま方には日頃より温かい励ましとご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

初夏から梅雨、盛夏と季節は移ろい、夜の長い時季がやつてまいりました。

「食俗の私」はもちろんですか「ね月見」（読書）など、静かに夜を過ごすことも、豊かで楽しい時間になるのではないでしようか。

さて、遊園地「としまえん」リニューアル報道があつたのが3年前のこと。ご家族で行かれた方もいらっしゃることと思います。

2020年8月末に閉園しました。今後の6ヶ月、魔法の世界観をコンセプトとしたテーマパークに生まれ変わりました。

同様に「西武園ゆうえんち」も2年前にはリニューアルしましたが、昭和レトロに回帰すると知り、驚いたことを思い出します。これらに共通することは、「入念なマーケティング」であり、さまざまなものから多面的・複層的に分析し、新たな価値観をいかに創出・付加するかを判断したものと思われます。

法人も、これまでの30余年の実践の振り返りを行い、至らぬ点は反省し新たに学び、これから

社会情勢の変化や制度変更の可能性を不斷に熟考し、5年先、10年先のニーズを見据えながら、事業を運営していくことが求められていると考えております。

秋は「スポーツと芸術」の季節でもあります。運動会や秋まつりなど、地域でさまざまなイベントが行われます。法人をいたしましても、昨年に続いて「あつたかまつり」を10月に開催する予定

ひとり（わたし）の笑顔がみんなの笑顔につながるよう、皆さまのご協力をいただきながら、日々の支援に努めてまいりますので、今後とも、よろしくお願い申し上げます。

(理事長 渡邊 昭浩)

### 【お詫びと訂正】

ふれつそ6号「たて糸よこ糸」に掲載しました。小ちやなアトリエ「いまじなしおん」の住所に誤りがございました。心よりお詫びすることともに、左記の正誤表の通り、訂正をさせていただきます。

・正・東京都武藏野市関前2-1-26-18  
読者の皆さま、並びに各関係者の方々に、  
申し上げます。 ←

社会福祉法人  
武藏野案内図

各施設は、

- 児童サービス
- 障害者サービス
- 高齢者サービス

に色・書体分けしています。また、Ⓐ～Ⓓは本誌に記事を掲載している施設です。

This map illustrates the central area of Musashino City, highlighting several key locations:

- 武藏野市立みどりのこども館** (Musashino City Children's Green Museum) - Located near the intersection of the JR Chuo Line and the Musashino Line.
- 武藏野市役所** (Musashino City Hall) - The central administrative office of the city.
- さくらごはん カフェ・ル・ブレ** (Sakuragohan Cafe Lu Ble) - A cafe located near the city hall.
- わくらす武藏野 なごみの家** (Wakurasu Musashino Nogomi no Ie) - A facility for elderly care and support.
- 野市障害者福祉センター ぱるくと (ゆいっと)** (Miyoshi disabled people welfare center) - Provides services for disabled individuals.
- かしの木** (Kashinoki) - A residential or institutional building.
- せきまえハウス** (Sekimae House) - Another residential or institutional building.
- 北町ほっと館 きたまちハウス りぶる** (Kitachō Hottotogakure, Kitamachi House Riburu) - A community support center.
- 中央図書館 市民文化会館** (Central Library, Citizen Culture Hall) - A multi-functional cultural facility.
- 武藏野福祉作業所 Gやさい食堂七福** (Musashino Welfare Workshop G Yasai Teishoku Shichifuku) - A workshop and cafeteria.
- 武蔵境駅 (Musashiguchi Station)**, **三鷹駅 (Mitaka Station)**, and **吉祥寺駅 (Kichijoji Station)** - Train stations along the JR Chuo Line.
- 五日市街道** (Gokaido Street) and **井の頭通り** (Izumidori Street) - Major roads in the area.
- JR中央線** (JR Chuo Line) - The railway line running through the town.
- くすの木** (Kusunoki) and **あいる** (Aire) - Residential areas.
- ワークセンターけやき (西久保オフィス)** (Workplace Center Keyaki (Nishi-kuboh Office)) - An office building.
- ジョブアシストいんくる** (Job Assist In庫) and **Yつむぐと** (Ytsumuguto) - Local service centers.
- 武藏野障害者総合センター** (Musashino Disabled People Comprehensive Center) - A hub for disabled services.
- ワークセンターけやき** (Workplace Center Keyaki), **ワークセンター大地** (Workplace Center Daichi), **デイセンター山びこ** (Day Center Yamaneboko), **デイセンターふれあい** (Day Center Furiaei), **地域生活支援センターびーと** (Community Life Support Center Bito), and **パールブーケ** (Pearl Bouquet) - Various local support and service centers.
- ゆとりえ** (Yutorie) - A residential or institutional building.
- 特別養護老人ホーム** (Special Care Home for the Elderly), **デイサービスセンター** (Day Service Center), **在宅介護・地域包括支援センター** (Home Care and Community-based Support Center), and **ゆとりえキッチン** (Yutorie Kitchen) - Services for the elderly and disabled.



今回の記事を通して日々の支援の積み重ねを改めて噛み締めています。今後も一日一日を大切に過ごしていこう思います(き)